

# 令和4年度における協議会の主な取組

(資料-5)

## 各自治体の取組事例

取組事例		頁
五霞町防災の日 避難所体験会・見学会の開催	五霞町	2・3
住民等への情報伝達方法の改善	さいたま市	4
水害啓発動画の作成	草加市	5
スマートフォン向けアプリ「吉川減災ナビ」の運用を開始	吉川市	6
ハザードマップを活用した防災講座の実施	杉戸町	7
京成本線荒川橋梁部水防訓練の実施※	足立区・葛飾区	8
水害図上訓練の実施	葛飾区	9
職員向け水害対応研修の実施	葛飾区	10
浸水リスク標示板の設置	葛飾区	11
水害からの避難に関する多言語の動画を作成	江戸川区	12
マイ・タイムラインの普及	茨城県	13
水防災情報の発信強化	東京都	14
区市町村との合同排水ポンプ車操作訓練の拡充	東京都	15
東京都における排水作業準備計画について	東京都	16
高潮浸水想定区域図の改定・高潮特別警戒水位の再設定	東京都	17
定着化を目指した気象防災ワークショップの実施	東京管区气象台	18
気象防災ワークショップ_東京版資料作成	東京管区气象台	19
防災教育の促進	水戸地方气象台	20・21

※足立区・葛飾区両区より同内容の資料をご提供いただきました。ここではまとめてご紹介いたします。

本町では、毎年11月の最終日曜日を「五霞町防災の日」として位置付け、避難訓練やマイ・タイムライン作成説明会などを開催し、町民の防災に関する意識啓発を目的とした取り組みを実施してきました。今年度の取り組みは、実際の避難所を使用して、水害の想定によって避難した町民が避難所を自主運営する「体験会」と、避難所で実際に使用する資機材等の展示や防災士資格を所有する町職員によるマイ・タイムライン作成講座を実施する「見学会」を同施設で同時に開催しました。

### 避難所体験会

午前9時30分～11時30分

- 対象者 行政区長、町議会議員、町民生委員・児童委員、一般申込者（全約60名）
- 概要 町職員が不在となった避難所を避難者が主体となって運営する際、様々な出来事が想定されます。このとき避難はどのように対応できるかを体験し、また、講師の防災科学技術研究所職員からアドバイスを受け、避難所の運営において適切な環境整備に対する知識向上や協力意識の醸成を図りました。
- 設定
- ・大型の台風が関東地方を直撃し、利根川上流域で特別警報級の大雨が降り続き、利根川の水位が上昇。今後も大雨が続くことが予想されている。
  - ・水位の上昇により、8時間後の午前2時に利根川堤防が越水する見込み。
  - ・町では、町民に避難行動を開始させるため、午後6時に避難指示を発令。
- 出来事
- ・避難所(2階)への階段を上がれない避難者からの応援要請（助けて）
  - ・無線による協力依頼(1階に物資が到着、取りに来てください 等)
  - ・就寝のための消灯後に物音(赤ちゃんの泣き声、足音、扉の開閉音等)
  - ・災害対策本部から避難者の照会(〇〇さんはいますか?)
- ワーク
- ・4グループに分かれ、リーダー及び係を決める
  - ・簡易トイレやプライベートテントの設営、食事場所等の各種スペースの配置設定 等
- 講義
- ・避難所内の平等、不平等について
  - ・参加者による非常持ち出し品の品評会



体験会(グループ毎に検討)



体験会(就寝時の想定)

## 避難所体験会



体験会(非常持ち出し品の品評会)



体験会(GW発表)



見学会(パネル展示)



見学会(MT作成講座)

## 避難所見学会

午前9時00分～11時30分

- 対象者 全町民(自由参加)
- 概要
- ・災害関連パネルの展示(警察、消防、自衛隊及び東電の協力)
  - ・防災士資格を持つ町職員によるマイ・タイムライン作成講座
  - ・避難所に配備する資機材(簡易トイレ、プライベートテント、蓄電池セット、ガス発電機、エアーマット等)の展示及び使用体験
  - ・非常持ち出し品例(1人分)の参考展示及び説明
  - ・町民による浸水対策アイデア紹介(住宅床下への泥水浸入防止策)
  - ・試供品として町備蓄食料(非常食※買い換え予定分)の配布等



見学会(避難所配備資材)

## ◇さいたま市防災アプリの構築・公開 昨年度までの経緯・背景

- 災害時には防災行政無線放送、メール配信、市HP、テレビデータ放送、災害時情報電話サービスなどの多様なツールを用いて住民への情報伝達を行っていた。
- 更なる情報収集のツールとして、それらの情報を普及の進んだスマートフォンのアプリケーションで1つにまとめることで、日頃から、市民がより多くの防災知識を習得することができるのと同時に、災害時には、避難情報や防災情報等を迅速かつ正確に情報を受け取ることが可能となる。

## 実施内容・今年度の実施状況

- 令和4年4月1日よりアプリをリリース
- さいたま市総合防災訓練での啓発、市報・区報による周知など

## 実施効果

- ダウンロード：17,784件（令和4年12月末時点）
- 令和7年度までに累計登録件数30,000件を目標としている



## 背景

- 近年、台風などの水害が発生するリスクが高まっていることから、市民に対し水害リスク及び命を守る方法を周知するために作成したものです。

## 実施内容

- 草加市特有の水害リスク、マイ・タイムラインの作成方法等を、わかりやすく動画でまとめ、You Tube配信しています。

## 実施効果

- 令和4年5月から放送を始め、総再生回数約6,000回となっています。  
(4部構成になっている動画の合計再生数)



災害時の情報収集や、普段からの備えに役立つアプリ「吉川減災ナビ」をリリースした。吉川市が発表する避難情報や防災無線の放送内容がプッシュ通知で受け取れるほか、ハザードマップや土の配置場所など様々な情報を確認して、いざという時のために備えることができる。

## 主な機能

- ・避難指示などの緊急情報をプッシュ通知で受け取れる。
- ・地図上で各避難所の開設状況や混雑状況を確認できる。
- ・ハザードマップなどの防災・減災に関する資料を閲覧できる。

**名称** 吉川減災ナビ

防災無線の放送内容や、緊急時の避難情報などを**プッシュ通知!**

**機能** ハザードマップなどがいつでも見られる!  
どこの避難所が開いているの? 混雑状況はどのくらい? **地図上で確認できる!**

**入手方法** 右上のQRコードを読み取る または AppStoreまたはGooglePlayストアで、「吉川減災ナビ」と検索 (無料) ※詳細は裏面へ

問合せ：危機管理課 ☎048-982-9471

戻る 減災マップ (ハザードマップ)

中川洪水ハザードマップ

中川洪水ハザードマップ

戻る お近くの指定避難場所

避難場所：吉川市立中央中学校 直線距離 約740m

埼玉県吉川市中央2-21-1

ルート情報： マップアプリ

避難所について

開設状況：【未開設】

空き状況：【-】

避難所の状況は随時更新されます。情報を更新するためにはアプリを一度終了し、再度起動する必要があります。

閉じる

デモ

## 実施内容・今年度の実施状況

- 令和3年3月に洪水ハザードマップを更新し、更新したハザードマップを活用した防災講座を実施。
- 水防災に対する理解と関心を高めるために防災講座を実施し、一人一人の防災意識の向上を図る。
- 自治会等の団体や、市内小学校に対し、町職員による防災に関する出前講座を実施。



# 京成本線荒川橋梁部水防訓練の実施

足立区、葛飾区

京成本線荒川橋梁は、戦後最大雨量(3日間流域平均)を記録した令和元年東日本台風による洪水では、ピーク時の水位が橋梁桁下に迫る高さまで上昇しました。

足立区・葛飾区は、令和2年度に『京成本線荒川橋梁部における水防活動手順書』をとりまとめ、荒川下流河川事務所・京成電鉄株式会社を加えた4者で水防活動に関する確認書を締結しました。令和3年度にはパラペット設置に伴い、手順書を更新しています。

- 『京成本線荒川橋梁部における水防活動手順書』に基づく対策の水防訓練を実施
- マスコミ等が入る公開の訓練は以下のとおり実施  
足立区 日時：令和4年5月27日(金)から5月28日(土)(夜間)  
葛飾区 日時：令和4年6月3日(金)から6月4日(土)(夜間)
- 実施内容  
実際の現場で水防活動手順書に基づく対策(土のう積み、止水板設置)を実施  
越水防止対策の妥当性(手順や所要時間等)や関係機関との連携方法等を確認・検証



足立区側対策(訓練)完了状況



葛飾区側対策(訓練)完了状況

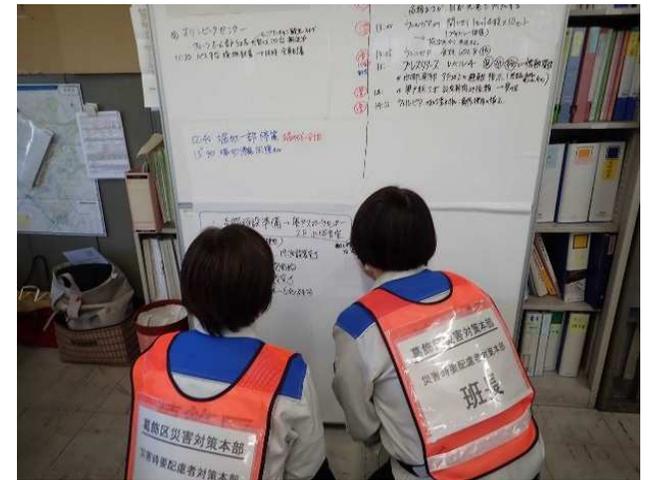
- ・広域避難時の対応事項に関する理解を深めるとともに、災害対応力の強化を図ることを目的とし、住民に広域避難を呼びかけた場合を想定した図上訓練を実施した。
- ・訓練参加職員を対象とした事前研修を実施し、区内の水害リスクや広域避難の可能性等について知識を深めた。
- ・参加人数 災害対策本部運営訓練：171名 避難所開設訓練：250名
- ・その他参加機関 東京都：4名、消防：3名、警察：3名、自衛隊：3名



住民からの問い合わせ対応



災害対策本部会議の様子



各班で情報共有する様子

- ・昨年度に引き続き、全職員を対象とし、最新の気象の動向やハザードマップ、災害対策本部や避難所運営、区民からの問い合わせ対応等について研修を実施した。
- ・水害時の区民対応や避難所運営等のほか、広域避難について研修を実施した。
- ・同内容の研修を26回実施し、約1000人の職員が参加した。

## 令和4年度 参集職員向け研修

- ・ 一 次 第 一
- ・ 開会
- ・ 1. 最新の気象の動向
- ・ 2. 葛飾区水害ハザードマップについて
- ・ 3. 参集時期及び災害対策本部の概要
- ・ 4. 令和元年台風19号における葛飾区の様況
- ・ 5. 令和3年度災害対策本部運営訓練の様子
- ・ 6. 江東5区大規模水害ハザードマップについて
- ・ 7. 広域避難対応について
- ・ 8. 避難所運営従事について
- ・ 質疑応答・閉会



- ・防災活動拠点となる区内の公園35箇所に「浸水リスク標示板」を設置した。
- ・浸水リスク標示板には、河川が氾濫した場合の浸水リスクのほか、各防災活動拠点の近くにある「洪水緊急避難建物」についても記載している。

荒川が氾濫した場合の  
青戸六丁目さくら公園の想定浸水深  
Assumed Flood Water Depth of Arakawa

1.87m

近くの洪水緊急避難建物  
Nearby Emergency Evacuation building for Flood Hazard

- ・青戸小学校  
Aoto Elementary School
- ・青戸中央児童館  
Aoto Central Children's Center

洪水緊急避難建物  
Emergency Evacuation building  
for Flood Hazard

(浸水リスク標示板)



(防災活動拠点となる公園の防災倉庫)

- ・講演会に参加できない区民及び外国人のために、水害からの避難について説明する動画を作成。
- ・外国人向けに作成した動画は、やさしい日本語、英語、中国語、韓国語及びヒンズー語の5種類となる。

## やさしい日本語版

## ヒンズー語版

えどがわく すいがいたいさく  
**江戸川区の水害対策**  
~やさしい日本語~

ききかんりぶ  
危機管理部  
ぼつさいききかんりか  
防災危機管理課

एदोगवा वार्ड में बाढ़ से होने वाले  
नुकसान से बचाव के उपाय  
~Hindi version~

एदोगवा वार्ड का आपातकालीन विभाग, आपदा निवारण, और संकट प्रबंधन प्रभाग

## 【目的】

災害時に住民が適切な避難行動を取れるようにするため、住民参加によるワークショップを開催し、適切な避難に役立つ「マイ・タイムライン」を作成する。

県では、平成30年度からマイ・タイムライン作成事業を実施しているが、令和4年度は新たに2つの取り組みを実施。

### 1. 県独自様式「我が家のタイムライン」の作成

従来のマイ・タイムライン様式を簡略化し、誰でも簡単に作成できる「我が家のタイムライン」を作成。

県ホームページに掲載するほか、市町村を通して洪水ハザード内の世帯へ配布。

◀ 「我が家のタイムライン」様式

### 2. 洪水ハザード内の小学校でのマイ・タイムライン作成講座の実施

県内の洪水ハザード内に所在する全ての公立小学校（100校）でのマイ・タイムライン作成講座実施を目指している。

100校のうち県に対して講座開催を希望しているのは60校であり、残りの学校は市町村、国河川事務所などへ開催を依頼予定。

県では、令和4年12月末までに55校で講座を開催。

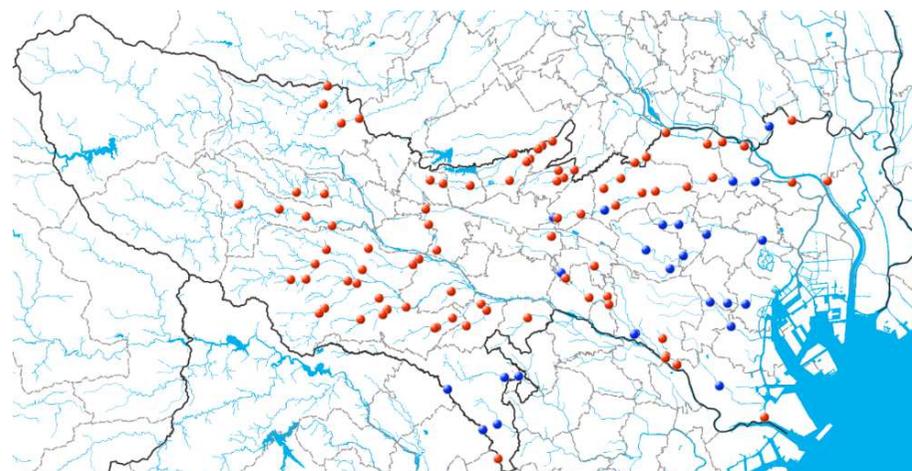


◀ 小学校での授業の様子

## ■河川監視カメラの設置拡大

- ▶ 住民の避難行動に繋がる水防災情報の発信・充実を図るため、河川の状況を分かり易くリアルタイムに伝える**河川監視カメラの設置拡大**
- ▶ 令和4年度は**30箇所増設**し、1月現在で109箇所の映像公開中
- ▶ 今後も、河川監視カメラの増設にあわせて、順次公開数を拡大予定

水防災総合情報システム 河川監視カメラ公開状況



● 令和元年度末における河川監視カメラ公開箇所  
● 令和元年度から令和4年度までに追加公開された箇所



東京都水防チャンネル

建設局河川部

水防災総合情報システム



東京都水防チャンネル  
チャンネル登録者数 6900人

チャンネル登録



▲QRコード

【YouTube 東京都水防チャンネル】

URL: <https://www.youtube.com/channel/UCaydvLwWthLMbfKLEQSY2U>

## ■更なる情報発信に向けた取組

- ▶ 水防災情報発信の更なる強化に向け、河川監視カメラなどの観測機器の設置拡大や**利用者の視点に立ったより使い易いシステムへの改善**等を行う



新設した河川監視カメラ映像立野二の橋【黒目川】



# 東京都における排水作業準備計画について

東京都

## ■これまでの経緯

- ・平成30年3月に公表した高潮浸水想定区域図によると、東部低地帯を中心に大規模な水害が発生することが判明
- ・高潮による大規模水害時において、速やかな排水により浸水を解消し早期の復旧・復興を図るため、排水施設や排水ポンプ車等の効率的な運用方法等を取りまとめた「東京都における排水作業準備計画」を作成し令和4年8月に公表

## ■対象区域

- ・高潮浸水想定区域図において72時間以上浸水が継続する14区を対象にして、9エリアに分けて運用方法等を取りまとめ

- ①江戸川区エリア ②葛飾区エリア ③足立区エリア ④江東区・墨田区エリア ⑤荒川区・北区エリア ⑥板橋区エリア ⑦中央区・千代田区・文京区エリア ⑧港区・品川区エリア ⑨大田区エリア

## ■準備計画の概要

- ①全エリア共通事項（対象となる全区に共通する事項）

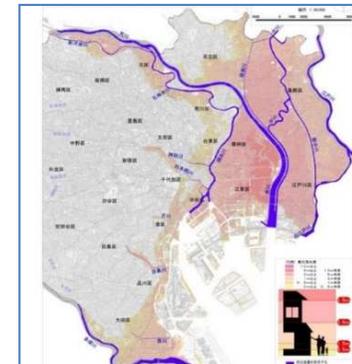
排水作業開始までの流れ、排水ポンプ車等の保有状況・諸元、排水ポンプ車等の配置方法 など

- ②エリア別事項（エリアごとに固有の事項）

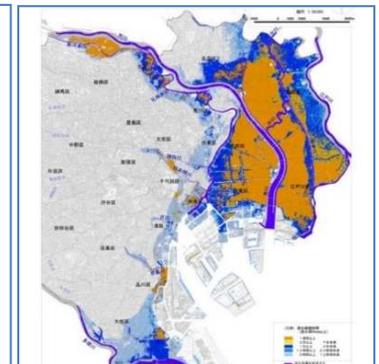
排水施設の位置や集水区域、排水施設への燃料補給ルート、標高図、排水ポンプ車の配置候補地、堤防種別など河川施設の情報 など

## ■今後の予定

- ・準備計画に基づき、排水対応タイムラインに沿って、関係機関連携のもと排水計画作成を行う図上訓練を実施
- ・準備計画に基づき、排水ポンプ車配置候補地へのアクセスと堤防上への設置など地元区と連携して実地訓練を実施



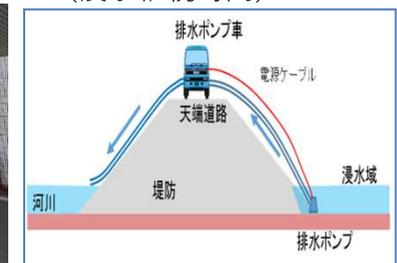
<高潮浸水想定区域図>  
>  
(浸水深)



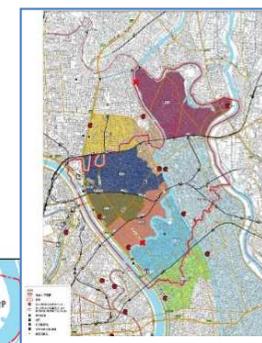
<高潮浸水想定区域図>  
>  
(浸水継続時間)



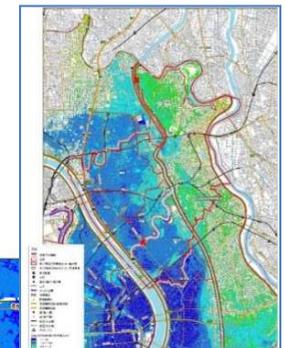
<都所有の排水ポンプ車>



<配置イメージ（土堤）>



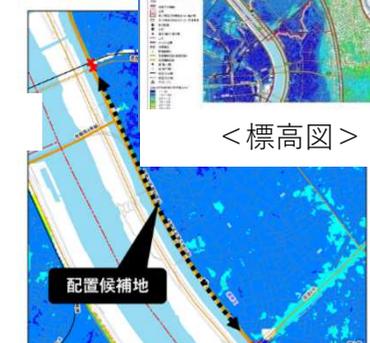
<集水区域図>



<標高図>



<排水施設への燃料補給ルート>



<排水ポンプ車の配置候補地>

# 高潮浸水想定区域図の改定・高潮特別警戒水位の再設定

東京都

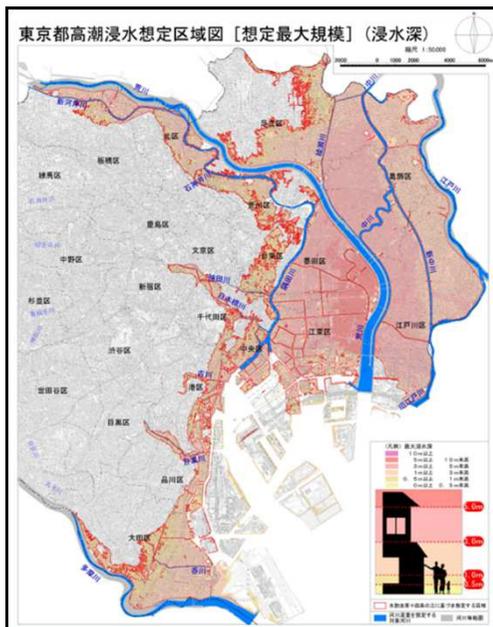
## これまでの経緯

- 平成27年5月の水防法の一部改正に基づき、平成30年3月に高潮浸水想定区域図を作成
- 令和2年7月に高潮浸水想定区域を指定し、高潮特別警戒水位の運用を開始
- 令和3年7月の「高潮浸水想定区域図作成の手引き」改定に伴い、高潮浸水想定区域図の改定に向けた検討を開始
- 令和4年5月の「高潮特別警戒水位の設定の手引き」改定※に伴い、高潮特別警戒水位の再設定に向けた検討を開始

※災害対策基本法改正(令和3年5月)に基づき、避難指示(警戒レベル4相当)から緊急安全確保(警戒レベル5相当)に変更

## 高潮浸水想定区域図の改定

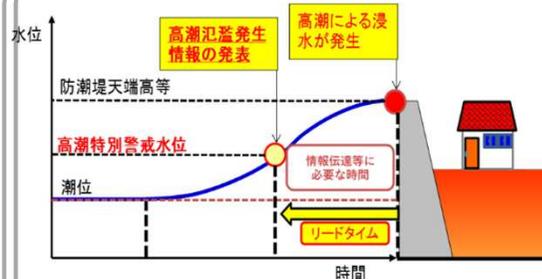
- 現在の浸水想定区域図と同様に中心気圧910hPaの台風(室戸台風級)を想定
- 新たに手引きに加えられた「半径の小さい台風」や「移動速度の小さな台風」についても検討
- 高潮により家屋が倒壊するおそれのある区域の検討  
(家屋倒壊等氾濫想定区域図の作成)



現在の高潮浸水想定区域図

## 高潮特別警戒水位の再設定

- 新たな浸水想定区域を踏まえ、警戒水位を再設定
- 「緊急安全確保」の判断材料に資する、「情報伝達等に要する時間(リードタイム)」を検討



高潮特別警戒水位イメージ



現在の高潮特別警戒水位

## スケジュール (予定)

検討項目	R3年度	R4年度			R5年度			R6年度
高潮浸水想定区域図		■■■■■			■	■	■	★
高潮特別警戒水位					■■■■■			★
検討委員会		★①	★②	★③	★④		4月公表(予定)	
							4月運用開始(予定)	

# 定着化を目指した気象防災ワークショップの実施

東京管区気象台

- ・市区町村が発令する避難情報を疑似体験してもらうグループワーク。
- ・3年間で1巡できるよう、すべての自治体を対象に実施している（東京都は2年で1巡目標）。
- ・防災担当初心者をはじめ各自治体からは、防災気象情報等に対する理解も進むため、継続的に実施して欲しいとの評価もいただいている（実施後アンケートより）。
- ・オンラインを用いた効率的な手法も取り入れ**毎年の取組みとして定着化**を目指している。

## 気象防災ワークショッププログラムの概要

### 避難情報・防災気象情報

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生 又は発生 の恐れがある	避難指示 （避難勧告）	緊急安全確保
4	災害の おそれ高い	避難指示から 注意喚起	避難指示
3	災害の おそれある	避難指示から 注意喚起	避難指示
2	災害発生 の恐れがある	避難指示から 注意喚起	避難指示
1	災害発生 の恐れがある	避難指示から 注意喚起	避難指示

防災気象情報の  
理解・活用（読み解き）



内閣府「避難情報に関する  
ガイドライン」に基づく解説

グループワークで  
災害対応を疑似体験

ガイドラインを気象状況  
などに当てはめて具体的  
に考えることによる  
実践力の育成

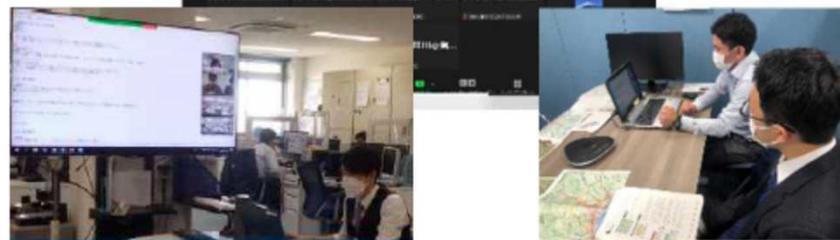
多様な参加者の中での  
議論による相互連携の  
醸成と新たな気づき



画像：梶岡博氏提供

このワークショップを通じて、防災気象情報を適切に理解し、自治体の体制の強化や避難情報の発令のタイミングなど判断のポイントを学んでいただき防災対応力の向上を目指す。

- ・ここ数年はオンライン（Zoom）も用いて実施。
- ・気象台等から発表される様々な情報を参照に、少人数によるグループワーク（Zoomのブレイクアウトルーム機能を利用）を行っている。



- ・防災気象情報等の適切な利活用促進を図るため、各都県で気象防災ワークショップを実施。
  - ・しかし、グループワーク資料は全国一律であるため、実感が湧かないとの声も。
- ↓  
そこで・・・
- ・今年度は、より実感を持って“我が事感”を持って取り組んでいただけるよう、  
中小河川洪水編（あきる野市）、土砂災害編（八王子市、三宅村）の東京版資料を作成。

仮想の市町だと  
どうも実感が  
湧かないな・・・



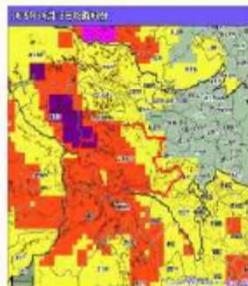
東京版  
を作  
ろう  
！



## 東京版ワークショップ資料

### 土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)

- ・【赤色】(警戒レベル3相当)が多くある
- ・予想または実況で「土砂災害警戒情報の基準に到達」を表す【紫色】(警戒レベル4相当)が現れている。



### 前提条件) 地図、ハザードマップ

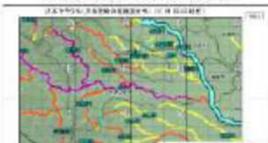


### 【場面3: 付与資料 4/5】

流域雨量指数の予測値 (12日 10:40時点)

河川	流域	予測値	危険度
あきる野川	上流	1.5	低
	中流	2.5	中
	下流	3.5	高
	河口	4.5	非常に高
三宅川	上流	1.0	低
	中流	2.0	中
	下流	3.0	高
	河口	4.0	非常に高

### 洪水キキクル (12日 10:40時点)



### 前提条件) 地図、ハザードマップ



大洗町における学校安全総合支援事業への支援。大洗町教育委員会より学校安全総合支援事業実践委員会委員(自然防災アドバイザー)に委嘱され、実践委員会や研修会等に出席して助言等を行った。

- ・9月2日(金)「大洗町立第一中学校、大洗小学校 合同引き渡し訓練及び意見交換会」
- ・10月20日(木)「大洗町立第一中学校、大洗小学校 自然防災教室講演等」



合同引き渡し訓練



自然防災教室

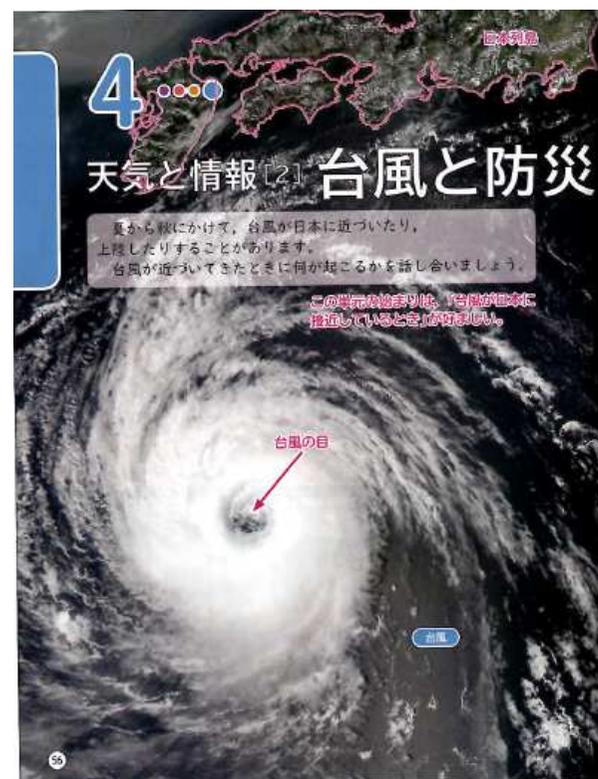
茨城県教育研修センターの研究授業(台風と防災)への支援。大洗町立南小学校の5年生に対する研究授業において、助言や質問対応を行った。

・7月8日(金)、7月11日(月)、7月13日(水)「大洗町立南小学校と気象台コラボ授業(Web参加)」

・9月8日(木)「大洗町立南小学校にて研究授業(台風と防災)発表会」



研究授業(台風と防災)発表会



大日本図書\_小学5年理科【台風と防災】